

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

私たちは、子ども達を守り育てます。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立明王台小学校
作成責任者 校長 境 孝司

| 区分 | 本校の課題 | 行動目標 | 取組内容 | 点検方法・時期 |
|--------------------|---|--|---|---|
| 教職員の規範意識の確立 | ○計画的に服務研修を実施しているが、お互いに声を掛けあう場面が少ない。 | ○「自分にもある」という当事者意識を持ち、規範意識を高め合う言葉が職場に聞こえるようにする。 | ○身近な事案や日常のヒヤリハットを研修に取り上げ、改善のための行動を具体的に考え、掲示して行動を変える。 ○「ヒヤリハット一覧」を集積し、研修の度に加除訂正する。 | ○ヒヤリハット一覧をチェックし、自分の行動を振り返る（学期に1回） ○「チェックリスト」を学期に一回行う。 |
| 学校組織としての不祥事防止体制の確立 | ○不祥事防止は組織で取り組むという意識が低い。 | ○不祥事防止は、組織で取り組むために、教職員同士で「声を出す」「行動を起こす」ことを実行できるようにする。 | ○不祥事防止委員会の内容を必ず全職員で確認する。 ○学期に1回、一斉行動日（整理整頓の日等）を設け、行動確認をする。 | ○不祥事防止委員会で、研修の振り返りやチェックリストで確認する。 ○学期に1回の一斉行動日に行動点検をする。 |
| 相談体制の充実 | ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の利用が少ない。 ○教職員同士で仕事の悩み等話す時間が少ない。 | ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」を積極的に知らせ、相談しやすい体制をつくる。 ○業務改善し、時間的なゆとりをつくる。 | ○相談窓口や相談日を担任が児童に積極的に紹介し、相談しやすい体制をつくる。 ○学校だよりで具体的な相談の事例を保護者に提示し、相談しやすい窓口であることを周知する。 ○暮会を月、木曜日の2回とし、時間的なゆとりを作る。 | ○学期末に児童、保護者を対象にアンケートを実施する。 ○学校衛生委員会を学期に1回以上実施する。 |